

文化芸術活動の拠点づくりと文化醸成活動！

リボンの会

活動の目的

2020年3月に、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言下、60年間市民の文化的活動の場を支えていた玉野市市民会館は静かに幕引きとなりました。リボンの会は、2018年より市民会館閉館後、玉野市の明るい未来のために文化芸術活動の場が必要であると訴え、様々な文化芸術活動を市内の団体とつながり・協働して企画・開催してきました。特に今年度は「玉野にふさわしい市民会館」の建設を目指すために、玉野市内外の方や高校生も参加し、夢を語り、まちづくりのことを自分事にする取り組みを行いました。定例となった深山イギリス庭園での音楽イベントも開催しました。「文化は感性豊かな人を育て、そこに文化の拠点が生まれる。」を活動の理念とし、玉野市の課題を見つけ顕在化し、解決の糸口を見つけることを目的としました。

活動の内容及び経過

1. 文化の拠点となる場の創生活動：3回シリーズのリボンワークショップを開催

第1回「意見を出す」～こんな市民会館が欲しいな～

9月19日 参加者：一般14名・高校生7名

第2回「イメージする」～理想の会館を形にしよう～

10月3日 参加者：一般14名・高校生8名

第3回「発表する」～これが私たちの市民会館！～

11月14日 参加者：53名（市長・教育長・議長含む）です。

（各回とも所要3時間）グループを音楽、演劇、美術、高校生の4つに分け、各グループにファシリテーターに参加していただき意見をまとめました。また、各回に武蔵野美術大学造形研究科建築コース修士課程在籍の大学院生にアドバイザーとして参加していただきました。

2. 市民の文化醸成活動：Music and English Garden「深山イギリス庭園で音楽を楽しむ日」を開催

高校の邦楽部、市内のアマチュア演奏家3団体、プロの演奏家による音楽会を午前・午後の二部制で開催。同時に市立図書館に音楽関連の本を展示していただきました。

3. 市内有志・文化活動団体と意見交換を行う交流会を開催

活動の成果・効果

1. 文化の拠点となる場の創生活動：リボンワークショップ第3回は、市長・教育長・議長・市議会議員等の前で成果を発表しました。

演劇グループの発表では、玉野にふさわしい文化の拠点は「船の市民会館」と発案し、高校演劇部の協力を得て演劇発表を行いました。音楽グループは、自分たちの表現したい場について夢を語り、美術グループは、世界に



第1回リボンワークショップ「意見を出す」



第3回リボンワークショップ「発表する」



Music and English Garden オカリナの演奏



Music and English Garden 音楽の本の展示

誇れる地域創生の一助になるとして、ユニークな移動式の文化活動拠点を発案、発表しました。高校生グループは、「住みたい町はどんな町かという視点で、楽しい町・安心安全な町と考えたら、文化の拠点が要ることに気が付いた。」と発表しました。

2. 市民の文化醸成活動：Music and English Garden

11月下旬の寒い日ではありましたが、アマチュア3団体とプロの演奏家出演による音楽会は大変好評でした。500名近い方の入場があり、イギリス庭園の周知度も高まり、他団体とも繋がることができました。

3. 交流会：文化の醸成のための活動に協力してこうということを話し合いました。

今後の課題と問題点

文化の拠点と文化醸成は両輪と捉えていましたが、今年度の活動を通じて順番が大事であるということを感じました。ワークショップ後のアンケートで「拠点が欲しい。行政は何もしてくれない」という声を多く頂きました。多くの市民は、文化の拠点が無いということに対して、自分事として身近な問題になっていないことが明確になりました。自分たちが欲しいものはどんなものか、どんな風に活用していきたいのか、玉野市民として考える機会が少ないことが課題となりました。

文化の拠点が本当に自分たちに必要なのだという意識が高まり、文化意識を高め育てていく活動が必要だと感じました。

●代表者：東りえ ●所在地：玉野市迫間

●TEL：090-1356-3655 ●E-MAIL：rie_higashi@mx9.kct.ne.jp

●設立年：2018年 ●メンバー数：10名